

“わたしのまち”

地域が一体となり取り組んだ「『雑司が谷がやがや』プロジェクト 歴史と文化のまちづくり」が公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「プロジェクト未来遺産」に選ばれた（伝達式での様子）

豊島区

100年後の子どもたちに伝承したいまち、雑司が谷

「プロジェクト未来遺産」に登録された、地域の文化や歴史

「プロジェクト未来遺産」に登録された、地域の文化や歴史  
 都心でありながら自然が多く、昔からのまち並みが残る雑司が谷では、100年後の子どもたちに地域の文化や歴史を伝承することを掲げ、地域団体や住民、自治体の協力による魅力的なまちづくりが行われています。また、その取組は、平成26年度公益社団法人日本ユネスコ協会連盟（以下、日本ユネスコ協会連盟）が推進する「プロジェクト未来遺産」にも登録され、地域内外から注目を集めています。



雑司が谷のまち並み

昔からの自然や文化を感じるまち

雑司が谷は、副都心池袋の南に隣接しているながら、繁華街の喧騒を離れ、どこか懐かしさを感じられるまち並みが残る地域です。子育て・子授けの神様として江戸時代から信仰を集める鬼子母神堂を中心に、参道ケヤキ並木、桜名所の法明寺、江戸時代に将軍家のお鷹部屋があった雑司ヶ谷霊園、季節の草花で彩られる雑司が谷旧宣教師館など、武蔵野の面影を残すまち並みの中に魅力的なスポットが点在し、四季折々の散策が楽しめます。

副都心線開通後は年々訪れる人も増え、最近では、鬼子母神堂や大鳥神社境

内で毎月開かれる個性的な手作り雑貨のマルシェ「手創り市」や、鬼子母神通りの古本フリマ「みちくさ市」など、新しいイベントも注目を集めています。

一方、節分や夏市、盆踊り、大鳥神社西の市など昔ながらの年中行事も大切に受け継がれ、特に毎年10月に行われる法明寺・鬼子母神の御会式（日蓮聖人の忌日の法会）では、池袋駅前から明治通りや目白通りをとおって雑司が谷へと、うちわ太鼓の音が鳴り響く中、華やかに振りかざされる纏を先導に、枝垂桜を模した万灯が何台も練り歩き、普段と違ったまちの姿を見ることができます。

## 雑司が谷がやがやプロジェクト

### プロジェクト未来遺産とは

平成26年12月18日、雑司が谷の地域住民が主体となった『雑司が谷がやがや』プロジェクト 歴史と文化のまちづくりの取組が評価され、『プロジェクト未来遺産』に選ばれました。

「プロジェクト未来遺産」とは、各地域で長い歴史を超えて人々が紡ぎ続けてきた文化遺産や、守り続けてきた自然遺産に光を当て、100年後の子どもたちに地域の文化・自然遺産を伝えていく運動（未来遺産運動）に取り組んでいる団体の活動を日本ユネスコ協会連盟が認定するものです。

### 次世代へ引き継ぐさまざまな活動

「プロジェクト未来遺産」の認定を受け、雑司が谷の魅力発信や次世代への継承の機運がますます高まり、平成27年7月、プロジェクトに参加した活動団体を中心に、地域の町会、商店会や郷土史関係者、区も加わり、「雑司が谷未来遺産推進協議会」が新たにスタートを切りました。雑司が谷地域に関わるさまざまな団体の連携をさらに深

めていこうと、各団体の代表者が顔を揃えた第1回総会は、昨年5月にオープンした新庁舎の区議会議場で開催されました。

### ◆鬼子母神御会式連合会

毎年10月に行われる鬼子母神御会式は、江戸時代から伝わる年中行事として雑司が谷のまちに根付き、何百年もの間継承されてきました。その御会式を企画・運営しているのが鬼子母神御会式連合会です。祭りを通じて地域をつなぎ、次の世代にも行事が受け継がれるよう支援活動を行っています。

### ◆鬼子母神大門櫓並木保存会

鬼子母神参道のケヤキ並木は、450年ほど前に鬼子母神堂建立を記念し植えられたのが始まりとされています。昭和15年ごろには、鬼子母神参道のこの美しい並木を知ってもらおうと地域の文筆家や住職により啓蒙活動が始まり

## 雑司が谷のまちのみどころ

雑司が谷の郷土玩具 すずきみみずく

● 仙行寺(華の福祿寿)

● 中野ビル(布袋尊)

● 南池袋小

● 法明寺

● 観静院(井財天)

● 東京音楽大学

● 大池袋駅

● 大鳥神社の恵比寿神 雑司が谷七福神めぐりが楽しめる

● 都電荒川線

● 都電東池袋四丁目駅

● 有楽町線

● 雑司ヶ谷霊園

● 清立院(毘沙門天)

● 雑司が谷案内処

● 雑司が谷旧宣教師館(都指定有形文化財)

● 清土鬼子母神(吉祥天)

● 鬼子母神堂の子授けイチョウ(都指定天然記念物)

● 鬼子母神堂(大黒天)(都指定有形文化財)

● 参道のケヤキ並木(都指定天然記念物)

● 起伏のあるまち並みをチンチン電車が走る都市景観

● 江戸時代にお鷹部屋があった雑司ヶ谷霊園の自然

● 夏目漱石など著名人が眠る雑司ヶ谷霊園を案内人めぐる

ました。それが鬼子母神大門かき櫻並木保存会の発端といわれています。現在も美しい並木道の保存・維持活動、清掃活動などを行い来訪者を迎えています。

◆雑司が谷 緑のこみちの会

この会は、雑司が谷の防災まちづくり活動から誕生しました。当時、雑司ヶ谷霊園は震災時に倒壊の危険があった万年塀で囲まれていましたが、同協議会の活動でみどりの生垣にするよう東京都に働きかけ、平成11年3月に実現しました。以降、生垣の管理や草花の植え付け、霊園内の清掃活動や休憩所の整備などを行っています。

◆すすきみみずく保存会

雑司が谷の郷土玩具でその姿が愛らしい「すすきみみずく」。江戸時代から継承されてきた玩具も最後の作り手が高齢のため辞めることになり、郷土文化を絶やしてはいけないという思いから、平成22年にすすきみみずく保存会が設立されました。

随時ワークショップが開催されているほか、毎年、近隣の南池袋小学校4年生を招待し、地域の子どもたちに作り方を継承するなど、すすきみみずく保存の裾野を広げる活動を行っています。

◆雑司が谷 七福神の会

雑司が谷の新たなまちおこしのために平成22年に結成され、翌年より七福神めぐりをスタートしました。鬼子母神堂の大黒天、観音院の弁財天、中野ビル布袋尊、仙行寺の華の福祿寿、大鳥神社の恵比寿神、清立院の毘沙門天、清土鬼子母神の吉祥天をおよそ2時間で巡拝します。コース内では、雑司が谷旧宣教師館や夏目漱石、竹久夢二などの著名人のお墓がある雑司ヶ谷霊園に立ち寄ることもできます。

◆としま案内人 雑司ヶ谷

豊島区が主催した『雑司が谷ボランティアガイド養成講座』を修了したメンバーが、雑司が谷ならではの歴史や地域を紹介しようと平成23年に設立したのが「としま案内人 雑司ヶ谷」です。ボランティアガイドとして、これまで延べ4000人以上を案内し地域と来訪者をつないでいます。

都電荒川線きし鬼子母神前ぼじん駅より徒歩

2分のところにある雑司が谷案内処を拠点に活動しています。

すばらしい自然と文化を100年後に

未来遺産 雑司が谷

このように、雑司が谷の人たちが中心となり地域の文化・歴史を継承することで、雑司が谷の魅力が地域内外に発信され、多くの人がまちを訪れるだけでなく、地域で活動を応援してくれる人も増えていきます。

そして、将来にわたってまちの魅力を高めていくためには、現在の地域文化や歴史を支える地域住民だけでなく、次の世代に、まちへの愛着と誇りを育

むことが必要です。平成27年9月、そうした次の世代の子どもたちに、地域の歴史を知ってもらうと、「雑司が谷の歴史を聴く会」が新庁舎としまセンタースクエアで開催され、近隣の南池袋小学校の児童たちも大勢参加しました。今後100年先の雑司が谷のまちを見据えた取り組みが一步一步と続いていきます。本年1月には「未来遺産雑司が谷やがやお散歩マップ」も発行。このマップは雑司が谷案内処でも手に入るので、未来遺産のまち「雑司が谷」に出かけしてみたいかがでしょうか。



歴史や文化が息づく雑司が谷。季節や場所によってさまざまな楽しみ方ができる（左上より右回りに、鬼子母神堂の子授けイチョウ、やがやお散歩マップ、すすきみみずく製作講習会、春の法明寺、鬼子母神堂）

